

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

入学式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校
https://www.ka.shibaura-it.ac.jp/
〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741
編集 総務部
発行日 令和3年4月7日
印刷所 榎横浜綜合写真

第23回中学校・第42回高等学校入学式

2021年度 入学式告辞

校長 野村 春路

新入生のみなさん、ご入学おめでとう。ようこそ、芝浦工業大学柏中学高等学校へ。今日から高等学校287名、中学校203名のみなさんが、芝浦工業大学柏高等学校と柏中学校の生徒となりました。

さて私たちはこの1年間、全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中、「新たな生活様式」に従って、思うに任せない生活を送っています。みなさんも昨年度は、学校行事や学校での活動を中止したり制限されたりしました。気軽に遠出もできない状態であり、様々なことにどうしても気持ちが膨らまないかもしれません。ワクチン接種が開始されたとはいえ、今年度もまだこの状況が続くと思います。

そのような中で、みなさんは芝浦工業大学柏の新入生となりましたが、これからの学校生活に向けて、多面的に考え続けるということをお話ししたいと思います。

現在の世界的なコロナ・パンデミック（大流行）、別名コロナ・ショックは、第二次世界大戦や冷戦の終結と同等に、人類の歴史を画する一大事象になりつつあります。第二次世界大戦においては、その前と後では「戦前」、「戦後」という言い方が定着しましたが、同様に今回は「コロナ前」、「コロナ後」という区別がされるでしょう。すでに「With コロナ」・「After コロナ」という言い回しは広がっています。それほど大きな変革期を迎えていますので、以前のものの見方や考え方を根本的に問いなおすことが起こりました。特に人と人との繋がり方を問う場面において、様々な問題が現在進行形で提起されています。例えば、会社に通勤しなくても仕事ができるのではないか（テレワーク）。学校も同じ文脈で問いを立てることができるかもしれません。行政や金融など事務的な手続きは、オンラインで簡単にできないか。買い物はネット購入が便利なのではないか。そしてこのコロナ禍がネット社会により深く依存することを促進したため、人々が気づかない間に様々なネット上の情報がますます一極集中しているのではないか。一方、対面で人々の看護や介護、養護をする人たちは、人

が直接的に働きかける業務でありますので、どこまで行っても負担が軽減しないのではないかと。経済的に困窮している人たちが、格差社会の中で一層厳しい状態に陥っているのではないかと。

ここで挙げたことは今回の事態のうちの数例に過ぎませんが、結局本来考えなければならなかった問題がより鮮明に私たちの前に迫ってきたということです。

今後ますます予測困難な時代が続くと思いますので、これらの問題に対し、すぐにはっきりとした提案や解決策を出すことは難しい状況ではありますが、様々な観点から検討し多くの人が納得できる解答を出さなければなりません。その中で、みなさんは、様々な問題に「あーでもない」「こーでもない」と多面的に考えることが大切です。というのは、Aの面からみると正しいが、Bの面からみると問題があるということがあるからです。また、一つの答えにたどり着いたといっても、それでおしまいということでもないかもしれません。その先も考え続けなければいけない。なぜなら、何か分かったという時は、単に一つの偏った見方、偏見を持ったに過ぎないという恐れもあるからです。いろいろ勉強し自分なりに分かったということはすばらしいことです。その上で今まで考えていた課題に対し、その後も常に問い続け、バージョンアップしながら追いかける根気が必要なのです。つまり、社会や世界の動きに目を配り、学び続ける、問い続ける。このことが、今後のみなさんの生きる基本姿勢になると思います。ぜひ、この姿勢を持って、今後の学校生活を過ごしてください。

みなさん一人一人が、未来を変える主人公です。その未来で力を出すために、みなさんの入学にあたり、ものごとを多面的に考え続けようというお話しをしました。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。教職員一同、教育に全力を投入する所存ですので学校との緊密な連携と、このような社会状況でもありますので、より一層のご協力をお願いいたします。



目次

校長告辞 / 式次第	1 P
ご挨拶 / 歓迎の言葉 / 校歌 / 学園歌	2 P

一、閉式の辞	一、校歌紹介	一、新入生	一、校長告辞	一、入学許可	一、開式の辞
	誓いの言葉				

式次第

ご挨拶

自らの可能性を拓き、他者の多様性を容認する

中学1年学年主任

中学23期生203名の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん一人ひとり、中学生としての決意と覚悟をもって、今日を迎えていることと思います。芝柏で学ぶ6年間は、『皆さんの可能性を拓く』大切な時間です。ただ、がむしゃらに知識を習得するのではなく、物事の有り様や因果関係などに目を向け、自分の興味・関心に引き付けることが大切です。そして、自分とは違う個性を持つ仲間と切磋琢磨することで、皆さんの個性が磨かれます。みんなで一緒に、楽しく学んでいきましょう。

「チーム42期、ともに踏み出そう」

高校1年学年主任

高校42期生287名の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員一同、心より歓迎いたします。これからの3年間は、さまざまな人生の選択があります。そして、そこには必ず皆さんの価値観や意思が伴います。是非皆さんには、芝柏でたくさんの経験を積んで、判断できる力と目標達成に向けて貫き通す強さを身につけてほしいと願います。それは、苦労も伴うかもしれませんが、達成できた時の自分を想像して、今日からその一歩をともに踏み出しましょう。287人が互いを認め合い、支え合いながら、チーム42期として切磋琢磨していきましょう。

歓迎の言葉

人とのかかわりを大切に

中学生徒会長

葉桜となり、より暖かい日差しを感じられる季節になりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎申し上げます。これから中学校生活が始まるにあたり、大切なことがあります。それは相手をリスペクトすることです。相手を考えたり相手を大切にしたりすることにより、より良い人間関係を作っていくことができると思います。最後になりますが、これから充実した芝柏での中学校生活が送れるよう、人とのかかわりを大切にして、楽しんでいきましょう。

気になることは調べてみよう！入学式だから櫻について！

高校生徒会長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。春といえば櫻ですが、櫻の漢字の由来はご存知でしょうか？諸説ありますが、「首飾りの玉のような実がなる木」という意味だそうです。また、さくらは「田の神様と神様が座る場所」を意味し、奈良時代などでは神聖な木として扱われています。もっと書きたいですが、また別の機会です。気になる人は調べてみると楽しい発見があると思います。学校生活は不安なこともあります、それを忘れるくらいの楽しいことが多いですよ！

芝浦工業大学柏中学高等学校校歌

毎日が喜び

小椋 佳 作詞
川辺 真 作曲
編曲

芝浦工業大学

学園歌

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲

一、緑と実り 自然の恵み

抱かれて建つ 白い学び舎

出逢う友は皆 輝く太陽のかなた

無限の宇宙へ 挑む翼を磨く

伝統を築くものたち

新しい道を拓くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

二、伸びやかな風 行く大津川

深い想いの 城址公園

集う友は皆 あふれる友情をかかえ

それぞれの夢に 熱い誓いを結ぶ

責任を果たすものたち

自由な心を抱くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

柏の青春 毎日が生きる喜び

一、朝日に輝く風と潮

雄大空あり雲は移る

仰げよ校旗の翩翻たるを

白亜の殿堂ここに聳え

われらが工学英気鍾む

芝浦芝浦われらが母校

二、世紀に脈うつ熱と理性

剛健矩あり常に鍛ふ

行へほがらに澁刺たれや

師弟の純情一に依りて

磨くにこの技神に通ず

芝浦芝浦われらが母校

三、永遠に栄ゆく意志と秩序

誠実ただあり道は徹る

夢むな空理の漠々たるを

精微をきはめて事に即かば

工学日本大を成さん

芝浦芝浦われらが母校